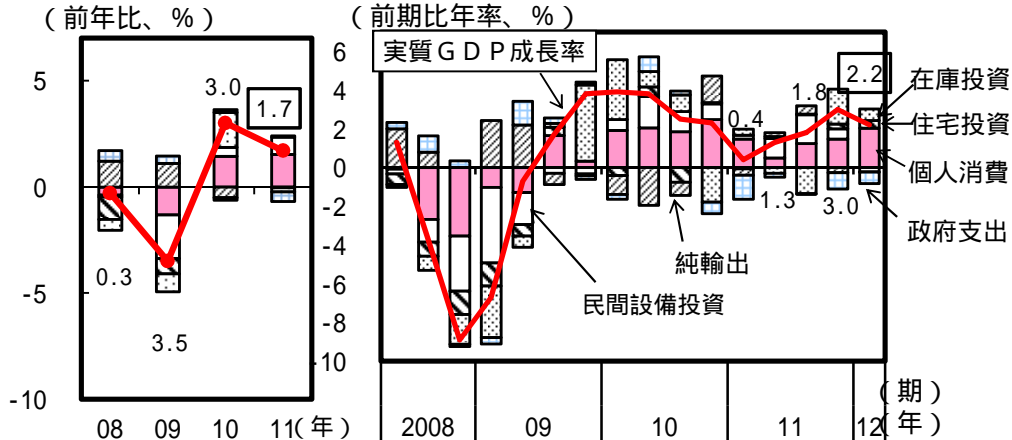


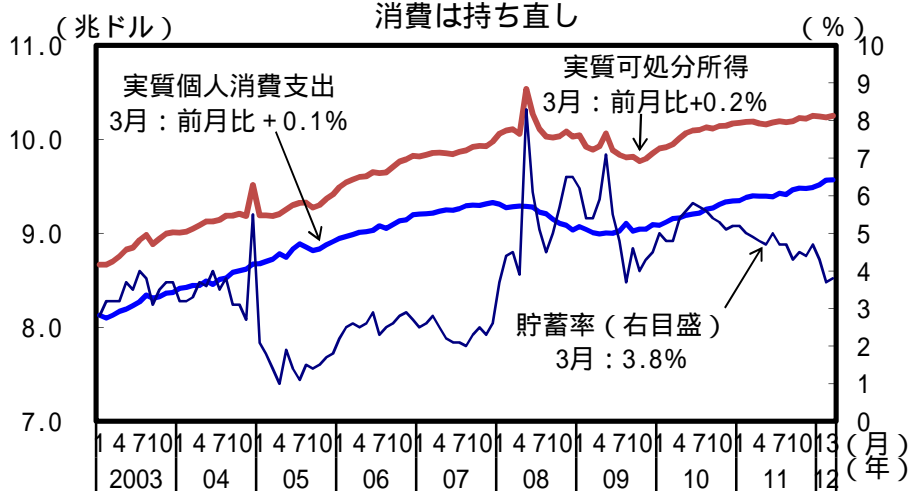
# 1. アメリカ

アメリカでは、景気は緩やかに回復している。先行きについては、緩やかな回復が続くと見込まれる。ただし、高い失業率の継続や住宅価格の下落等により、景気が下振れするリスクがある。また、財政緊縮の影響に留意する必要がある。

実質GDP成長率（1次推計値）  
2012年1～3月期は前期比年率2.2%成長

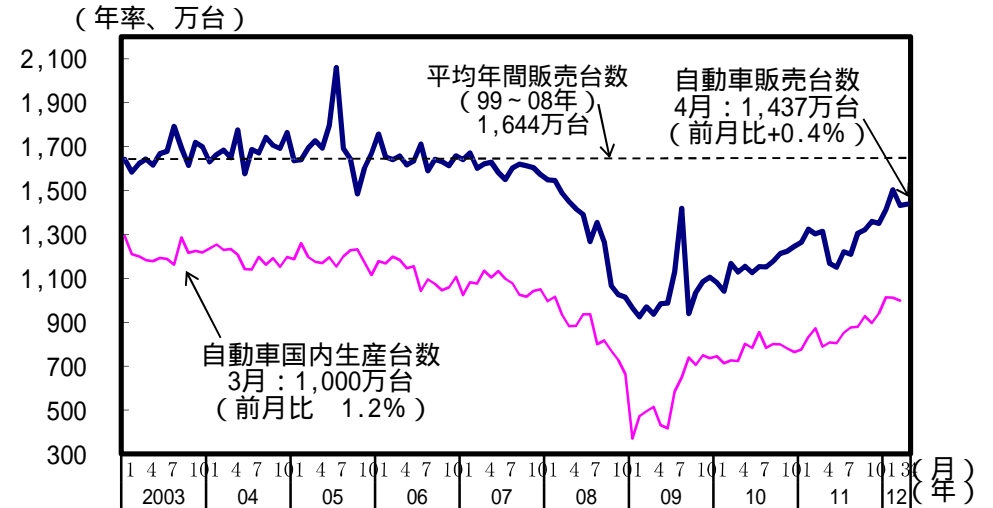


(備考) 1. アメリカ商務省より作成。  
2. 2012年1～3月期の寄与度(%)は以下のとおり。個人消費：2.0、民間設備投資：0.2、住宅投資：0.4、在庫投資：0.6、政府支出：0.6、純輸出：0.0。



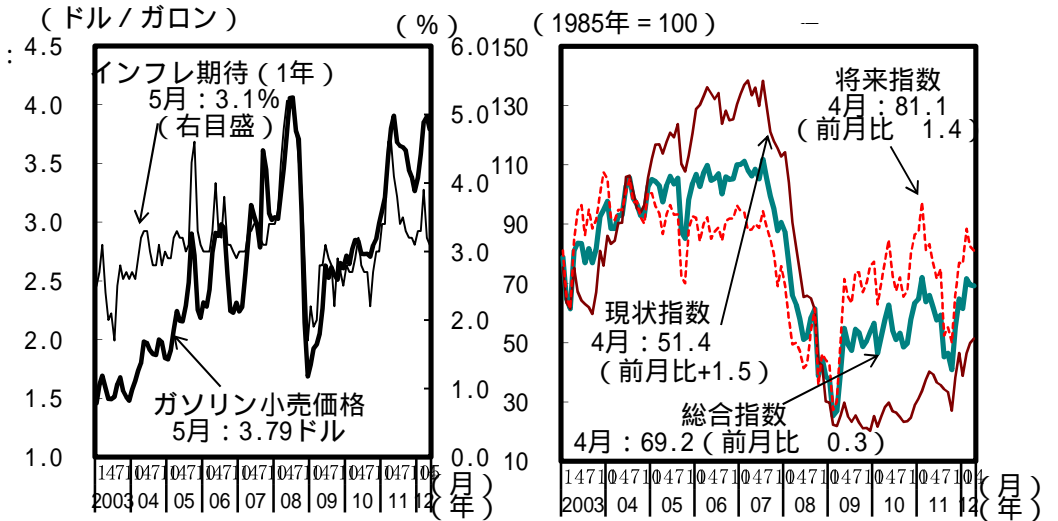
(備考) アメリカ商務省より作成。

自動車販売台数は増加傾向



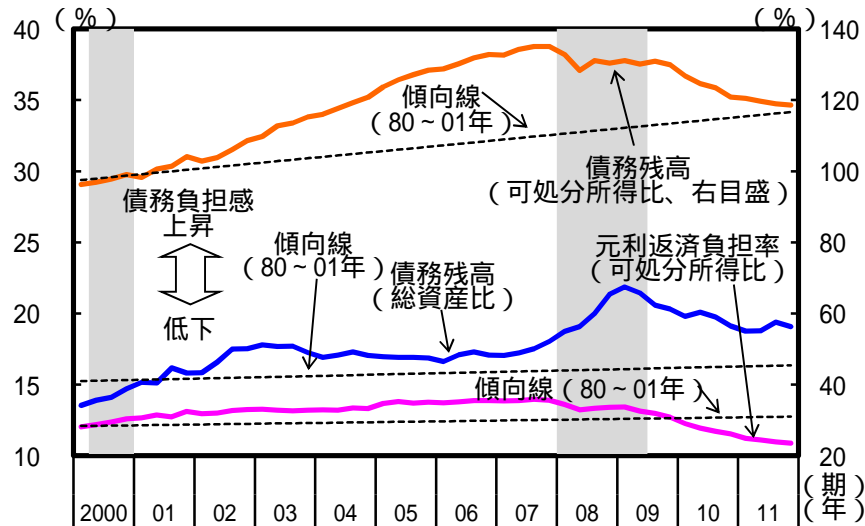
(備考) アメリカ商務省、連邦準備制度理事会(FRB)より作成。

消費者信頼感指数は上昇傾向



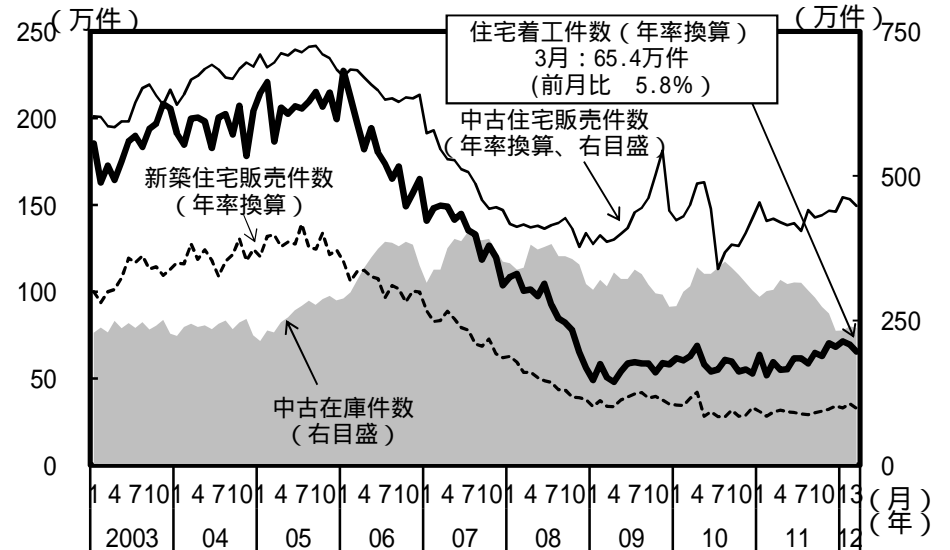
(備考) 1. コンファレンス・ボード、アメリカ・エネルギー省、ミシガン大学より作成。  
2. 将来指数は6か月後の見通し。ガソリン小売価格は月平均価格(5月は第1週の価格)。インフレ期待は、今後1年後における物価上昇率予測回答の中央値。

### 家計のバランスシート調整は継続



- (備考) 1. アメリカ商務省、連邦準備制度理事会 (FRB) より作成。  
 2. 網掛け部分は景気後退期を指す。  
 3. 「元利返済負担」は、住宅ローン及び消費者ローンの返済負担を示す。

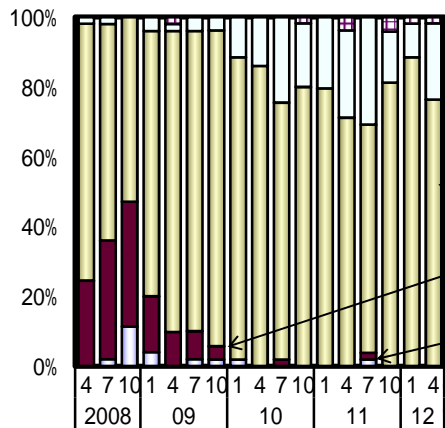
### 住宅着工は低水準にあるものの、持ち直しに向けた動き



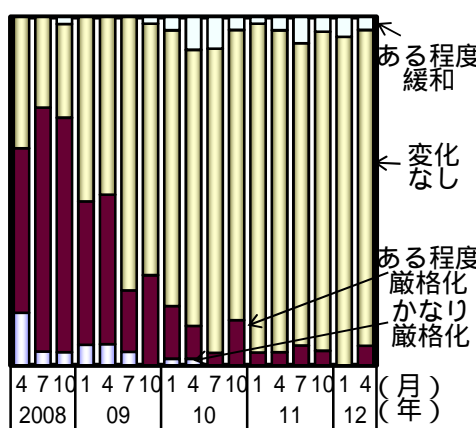
- (備考) 1. アメリカ商務省、全米不動産業者協会 (NAR) より作成。  
 2. 2012年3月の販売件数に対する中古在庫件数の割合は6.3ヵ月分に相当。

### 金融機関の消費者向けローンに対する貸出態度はやや緩和

(1) 消費者向けローン

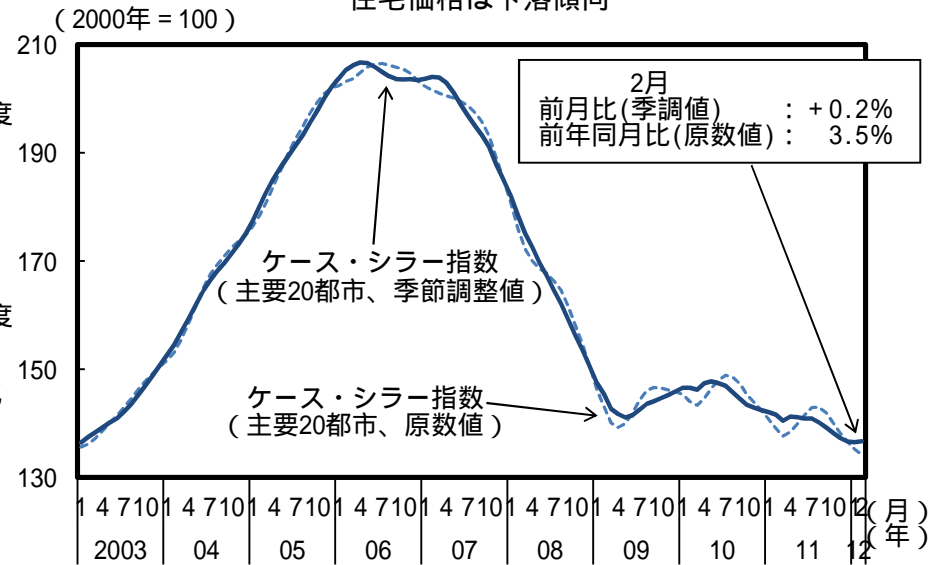


(2) 住宅ローン(プライム)



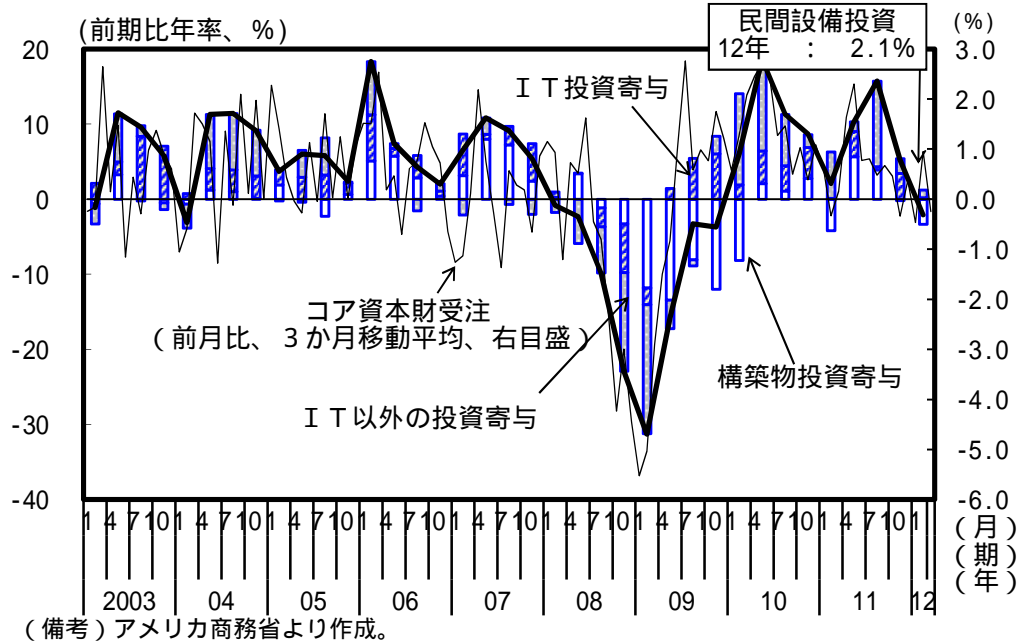
- (備考) 1. 連邦準備制度理事会 (FRB) より作成。  
 2. 金融機関に対し、(1) 過去3ヵ月間で消費者向けローンに対する貸出態度をどのように変化させたか、(2) 住宅ローン(プライム)の申請に対する貸出基準をどのように変化させたか、それぞれアンケート調査を行ったもの。  
 3. 消費者向けローンは住宅ローンを含まない。

### 住宅価格は下落傾向

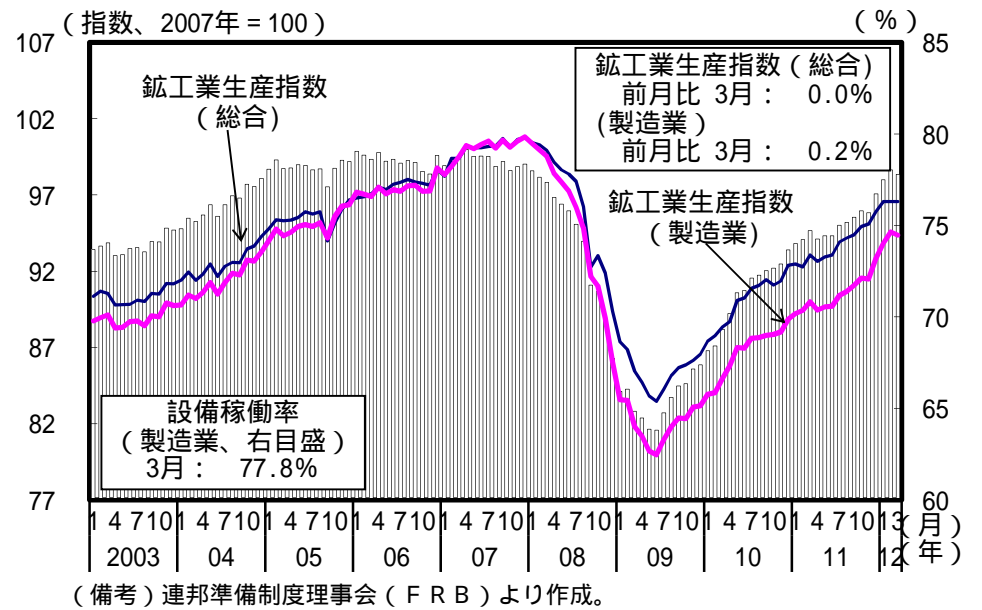


- (備考) スタンダード・アンド・プアーズより作成。

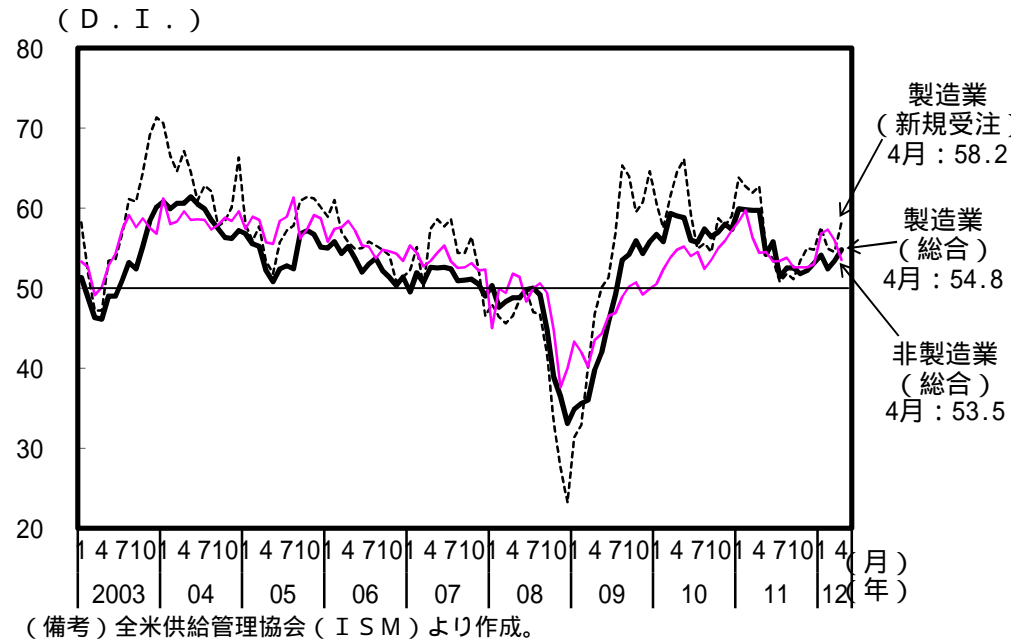
設備投資はこのところ弱い動き



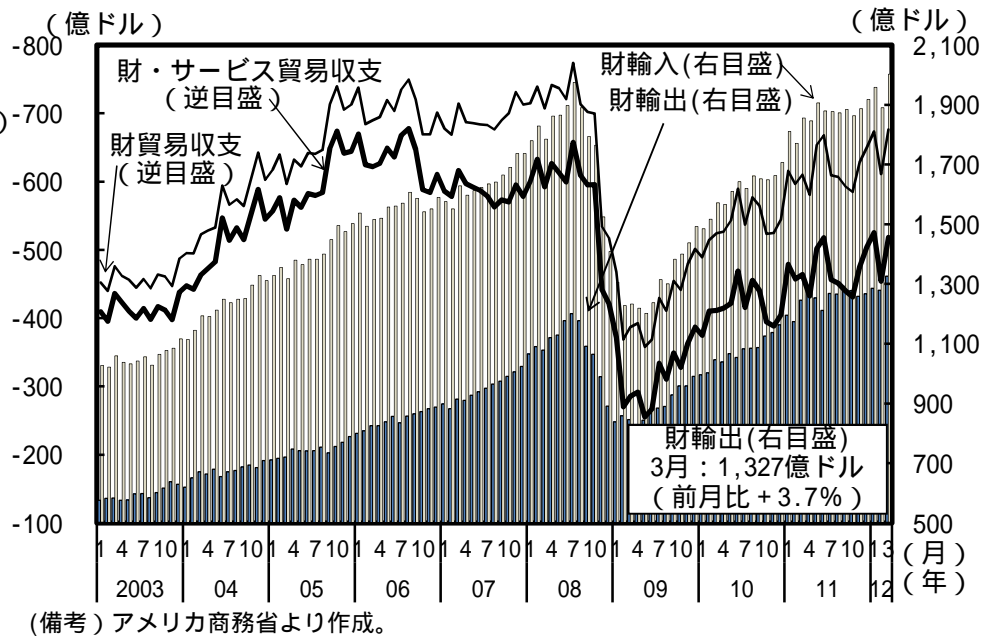
生産は緩やかに増加



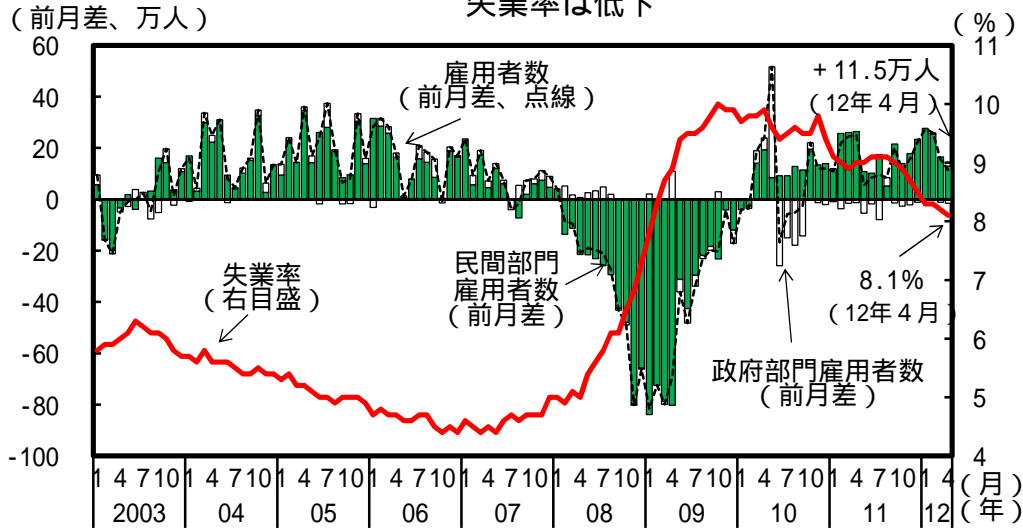
景況指数は持ち直し傾向



財輸出は緩やかに増加

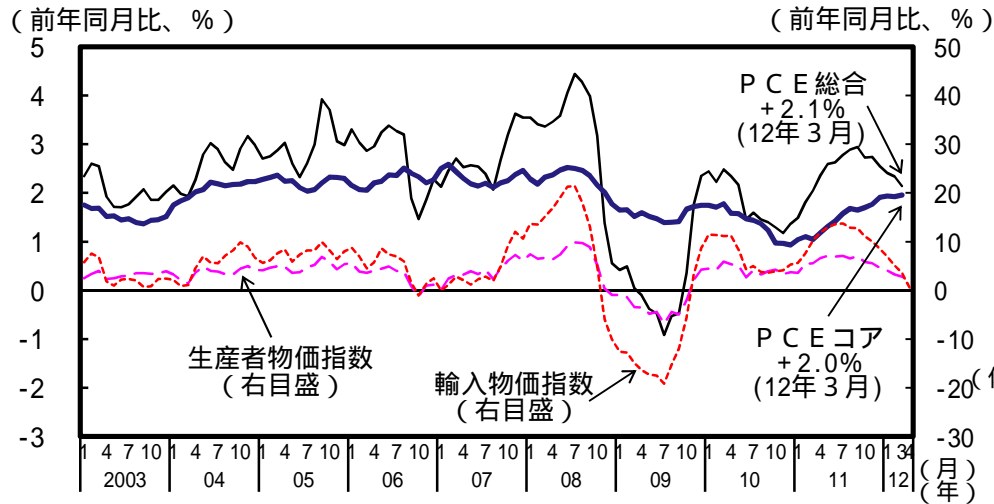


雇用者数はこのところ増加のテンポが緩やかになっているが、失業率は低下



(備考) 1. アメリカ労働省より作成。雇用者数は非農業部門。  
2. 2008～09年の雇用者数の増減は 866.3万人、10年以降の雇用者数の増減は +367.0万人。

コア物価上昇率は落ち着きが見られる



(備考) 1. アメリカ労働省、商務省より作成。  
2. コア指数は、総合指数からエネルギーと食品を除いた指数である。

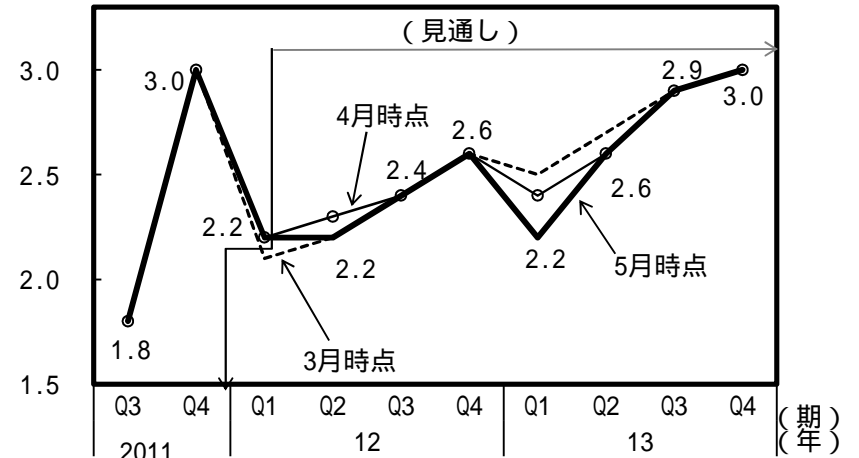
主要機関等による実質経済成長率の見通し

		(前年比、%)	
		12年	13年
ブルーチップ (民間見通し平均) (12年5月10日)	上位10社	2.5 (2.6)	3.0 (3.1)
	平均	2.3 (2.3)	2.6 (2.6)
	下位10社	2.1 (2.1)	2.0 (2.1)

		(前年比、%)	
		12年	13年
OECD (11年11月28日)		2.0	2.5
IMF (12年4月16日)		2.1	2.4
行政管理予算局 (OMB) (12年2月13日)		2.7	3.0
議会予算局 (CBO) (12年1月31日)		2.2	1.0
連邦公開市場委員会 (FOMC) (12年4月25日)		2.4～2.9 (10～12月期の前年同期比)	2.7～3.1 (同左)

ブルーチップ 5月

(前期比年率、%)



(備考) 1. ブルーチップ・インディケーター (12年5月10日号、4月10日号、3月10日号)、OECD “Economic Outlook 90” (11年11月28日)、IMF “World Economic Outlook” (12年4月16日)、アメリカ行政管理予算局 (12年2月13日)、アメリカ議会予算局 (12年1月31日)、連邦公開市場委員会 (12年4月25日) より作成。  
2. ブルーチップのカッコ内は、12年4月10日時点の見通し。